

再生可能エネルギーによる電力自給率65%を目指し、導入を進めています

再生可能エネルギーとは、太陽光や水力、風力、バイオマス、地熱など、化石燃料を原料として使用しないエネルギーのこと。発電時に「CO₂を排出しない」といったメリットがあり、地球に優しいエネルギーです。県は、2030年までに県内の再生可能エネルギーによる電力自給率65%を目指し、自然環境や景観に配慮しながら、導入を進めています。今回は、県内の導入事例の一部をご紹介します。



県内の再生可能エネルギー発電施設の事例

高森高原風力発電所(一戸町)

大型の風車11基からなる県内初の蓄電池を併設した大規模風力発電所で2018年1月1日に運転を開始しました。
定格出力: 25,300kW(2,300kW×11基)
売電電力量: 1年あたり約5,300万kWh(一般家庭約1万6千世帯分)



出典:岩手県企業局

北上浄化センター消化ガス発電施設(北上市)

下水をきれいにする途中で発生するガスを発電に有効活用することを目的に県が設置し、2017年12月1日に発電を開始しました。都道府県が所管する流域下水道の処理場におけるFIT(電力の固定価格買取制度)活用の発電としては東北地方で初の事例となります。



写真提供:北上浄化センター(北上市) 消化ガス発電施設(北上市) 消化ガス発電施設(北上市) 消化ガス発電施設(北上市)

発電容量: 350kW
発電機の形式: マイクロガスエンジン
発電機の構成: 25kW×14台
年間発電量: 約250万kWh

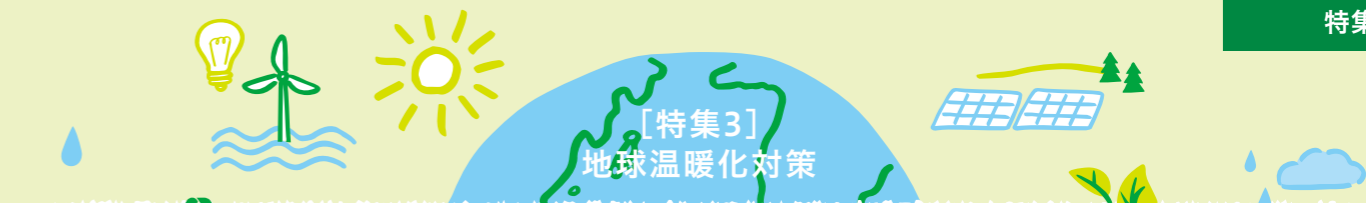
松川地熱発電所(八幡平市)

1966年10月に完成、運転開始した国内初の地熱発電所です。蒸気井から噴出した天然の蒸気でタービンをまわして発電を行うドライスチーム方式が採用されています。



写真提供:東北自然エネルギー(株)松川地熱発電所

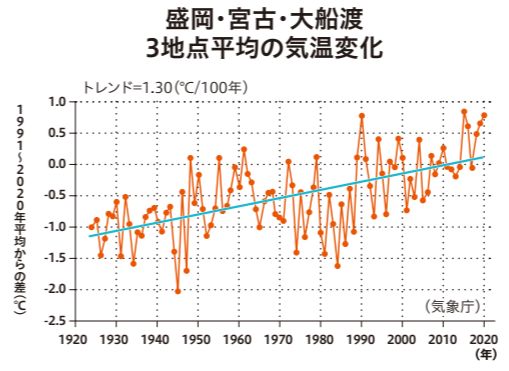
認可出力: 23,500kW
参考: 資源エネルギー庁ホームページ「松川地熱発電所」



[特集3] 地球温暖化対策

2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指して オール岩手で気候変動対策

岩手県でも平均気温が上昇しています!



いわて気候非常事態宣言
地球温暖化による気候変動の影響で、世界各地で深刻な異常気象が発生しています。県内でも、風水害や、海水温度・平均気温の上昇など、さまざまな影響が生じています。そこで、県は、2021年2月17日、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「いわて気候非常事態宣言」を発表しました。持続可能な社会の実現に向けて、オール岩手で気候変動対策を進めていきましょう。
知事による宣言の内容はこちらから。
いわて気候非常事態宣言 検索



エコ活動を始めてみよう!

いわてわんこ節電所

いわてわんこ節電所は、地球温暖化対策に役立つ情報を発信し、エネルギー消費の少ないライフスタイルへの転換をサポートするウェブサイトです。「家庭のエコチェック」に参加して、みんなでCO₂削減に取り組みましょう。



いわてわんこ節電所について
岩手県地球温暖化防止活動推進センター
電話 019-606-1752
いわてわんこ節電所 検索

エコに関する研修会

地球温暖化に関する研修会を開催する場合には、講師として、温暖化対策に知見のある「地球温暖化防止活動推進員」を派遣しています。派遣費用は無料ですので、ぜひ、ご相談ください。



エコに関する研修会について
岩手県地球温暖化防止活動推進センター
電話 019-606-1752
岩手県 地球温暖化防止活動推進員 検索

省エネ住宅の普及促進

新築やリフォーム時はもちろん、「家の中が夏暑く、冬寒い」といった日常生活の困りごとなど、専門家による省エネ住宅に関する相談・アドバイスを実施しています。必要に応じて住宅の省エネ診断も行っています。



省エネ住宅について
(一財)岩手県建築住宅センター(省エネ住宅相談窓口)
電話 019-623-4420
岩手県 省エネ住宅相談窓口 検索

●全般的な相談について 県庁 環境生活企画室 電話 019-629-5271

将来の気温は温室効果ガスの排出量次第です



お話しを伺った人
盛岡地方気象台長
中舘明さん

地球温暖化の主な原因は、自動車や家庭から排出される二酸化炭素などの温室効果ガスの増加が原因と言われています。県内でも盛岡・宮古・大船渡の3地点では、100年あたり1.3度のペースで平均気温が上がっています。温室効果ガスを排出し続けた場合、21世紀末には20世紀末に比べて、県でおよそ4.6度上昇することが予想されていますが、温室効果ガスの排出を実質ゼロまで削減した場合は、およそ1.4度の上昇に抑えることが可能です。

事業者もできることからアクションを

●前野モーターズ(葛巻町)

前野モーターズ(前野副郎社長)は、2021年度温暖化防止いわて県民会議「できることからECCOアクション!」で、「ECCOアクション賞」を受賞しました。省エネに力を入れる欧州を視察して、「持続可能な社会を築くために、自分たちはどんなことができるだろう」と考え、環境問題を自社の課題として、脱炭素化へ向けた取り組みをスタート。独自の給湯システムや照明のLED化を導入するなど、徹底した省エネ型の職場づくりに取り組んでいます。



▲照明をLED化